



すてきなおばあちゃん

いそがしいよる

さとう わきこ さく・え 福音館書店 Eーサ

ばばあちゃんがそらを見あげると、おほしさんがピカピカひかっています。このまうちにいるのはおしくなったばばあちゃんは、ゆりいすをそとにもちだしました。すると、とおくのもりからおつきさんがでてきました。ここでねちゃえばいいとおもったばばあちゃんは、うちのなかからベッドをひきずりだしてくると、にわのまんなかにおきました。

グリーン・ノウの子どもたち

ルーシー・M・ボストン 作 亀井 俊介 訳 評論社 933ーポ

がっこう きしゆくしゃ
学校の寄宿舎にはいっているトーリーは、オールドノウひいおばあさんから、うちにきて休みをすごしなさいと手紙をもらいます。ひいおばあさんにははじめて会いましたが、トーリーはまえからよく知っているような気がしました。お城にすんでいるひいおばあさんに、本で読むお城みたいいろいろなことが起こるかとおくと、ひいおばあさんはきつとなにか起こると言いました。

月からきたトウヤーヤ

蕭 甘牛 作 君島 久子 訳 岩波書店 923ーシ

むかし、村の人びとが「わらじおばさん」とよぶおばあさんがおりました。おばあさんの作ったわらじは、はきごちがすてきでしっかりしています。ある年の十五夜の晩、わらじおばさんが戸口にすわってわらじをあんできると、月の中から、ひとりのおじいさんがおりてきました。おじいさんは、わらじを一そく作ってもらいたくて、月の世界からおりてきたと言いました。

小さな赤いめんどり

アリソン・アトリー 作 神宮 輝夫 訳 こぐま社 933ーア

ちい いえ
小さな家に、おばあさんがひとりぼっちですんでいます。あるばんのこと、ドアをたたく小さな音がきこえたので、おばあさんはドアをあけました。すると、あがりだんの上で小さなめんどりがちぢこまっています。おばあさんはめんどりをなかにいれ、ごはんをだしてやりました。それからおばあさんがベッドのしたくをしていると、男がやってきて、ちっぽけな赤いめんどりを見なかったかとたずねました。

たんじょうび

ハンス・フィッシャー ぶん・え おおつか ゆうぞう やく 福音館書店 E-フ

きょうは、リゼッテおばあちゃんのたんじょうびです。いっしょにすんでいるねこのマウリとルリ、いぬのベロはおばあちゃんがでかけているあいだに、ケーキをやくことにしました。ベロはおんどりにどうぶつたちをあつめてもらい、おばあちゃんをびっくりさせるためにてつだってほしいとたのみます。みんなはおいわいのじゅんびをはじめました。

リンゴの木の上のおばあさん

ミラ・ローベ 作 塩谷 太郎 訳 岩波書店 943-0

アンディにはおばあさんがいないので、くやしい思いをしていました。おかあさんは、アンディにおばあさんの写真を見せてくれました。そのあとアンディが庭のリンゴの木にのぼると、写真のおばあさんがとつぜんあらわれたのです。おばあさんは手さげからきっぷをとりだし、アンディをゆうえん地につれていってくれました。

おすのつぼにすんでいたおばあさん

ルーマー・ゴッデン 文 なかがわ ちひろ 訳・絵 徳間書店 933-0

むかしむかし、みずうみのほとりにあるおすのつぼの家に、おばあさんがすんでいました。ある日おばあさんは、夕はん^ひにたべようとした小さなさかながくるしそうにしていたので、みずうみになげてやります。小さなさかなはさかなのおう^{ちい}さまで、おばあさんにのぞみをすべてかなえてあげましようといいました。おばあさんは小さなさかなに、あったかい夕はんや、きれいな家や家具など、つぎつぎにねがいごとをしました。